



JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2

Wednesday 19 November 2003 (morning)
Mercredi 19 novembre 2003 (matin)
Miércoles 19 de noviembre de 2003 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works, will not score high marks.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- Ne pas ouvrir cette épreuve avant d'y être autorisé.
- Traiter un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くに当たっては、授業で学習した部門（Part3）から、少なくとも二つの作品に言及しなさい。なお、同じジャンルであれば、Part2の作品やその他の作品を扱うことも可能であるが、あくまでもPart3の二作品を主な対象として、エッセイを書くこと。（Part2：精読の部門。Part3：ジャンル別の部門）

1. 物語・小説

- (a) 物語や小説において、主要な登場人物が、法や社会の掟、慣習を破ってしまい、そこから一種の緊張感が生じることがよくあります。あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）から例を挙げ、登場人物のこのような行為を通して、個人と社会との関係がどのように表現され、またそれは作品にどのような効果をもたらすか、論じなさい。

あるいは、

- (b) 多くの物語や小説では、新たな発見、自我の目覚め等が、登場人物の成長過程において重要な役割を果たしています。あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）から例を挙げ、主要な登場人物の精神的な成長過程を比較して、論じなさい。

2. 随筆・評論

- (a) 評論家の梅田卓夫^{ただお}は、随筆や評論の目的は「批評すること」であり、「批評とは、世界と自分をより正確に認識しようとする心のはたらきである。」と述べています。あなたの学んだ随筆や評論（少なくとも二つ）において、作家はどのように世界における自分の立場をより深く認識しようとしているか、述べなさい。

あるいは、

- (b) あなたが学んだノンフィクション作家（少なくとも二人）が、自分の考えに説得力を持たせるために、イメージや比喩などの文学的手法をどのように用いているか、述べなさい。

3. 詩歌

- (a) 「詩は青春の文学である。」と言われることがよくあります。この考えはあなたの学んだ詩歌（少なくとも二つ）に当てはまるかどうか、論じなさい。

あるいは、

- (b) あなたの学んだ詩歌（少なくとも二つ）において、作者はリズム、擬音語、擬態語をどのように効果的に使用しているか、述べなさい。

4. 戯曲

- (a) あなたの学んだ戯曲（少なくとも二つ）において、観客の感情を刺激し、緊張感を高めるために、どのような工夫がなされていますか。その効果も含めて、考えるところを述べなさい。

あるいは、

- (b) 戯曲において、主要な登場人物が自己や自己の世界に対して誤解や幻想を抱き、それにより生じる様々な問題が中心テーマとなっている場合がよくあります。あなたの学んだ戯曲（少なくとも二つ）に関して、考えるところを述べなさい。

5. 一般的質問

- (a) あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）から例を挙げて、作者は国家をどのようなものとして描いているか、論じなさい。

あるいは、

- (b) 優れた文学作品は、私たちに自己の悲哀や苦悩を客観視する機会を与え、悩みから解放してあげることがあります。あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）について、考えるところを述べなさい。

あるいは、

- (c) あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）における、「偶然」や「運」の重要性と効果とについて論じなさい。

あるいは、

- (d) 多くの文学作品では「老い」を、知的及び肉体的能力を失っていく恐ろしいものとして描いています。あなたの学んだ作品（少なくとも二つ）から例をあげて、考えるところを述べなさい。
-